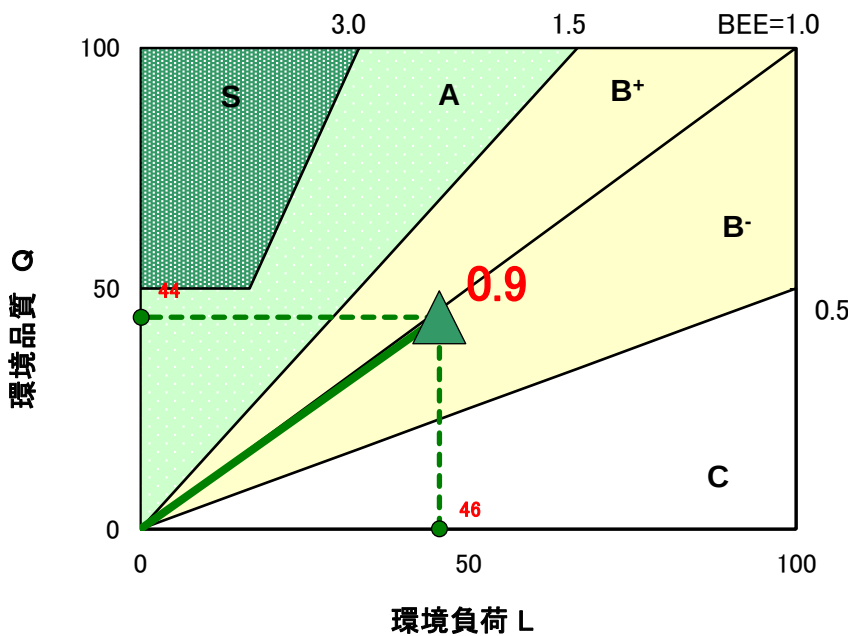


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	熊本ダイハツ販売(株)本社・本店 改築	階数	地上3F	
建設地	熊本県熊本市南区平田2丁目50,51,52	構造	S造	
用途地域	工業地域	平均居住人員	100 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年	
建物用途	事務所,物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年9月3日	
敷地面積	10,624 m ²	作成者	松本拓也	
建築面積	2,381 m ²	確認日	2019年9月4日	
延床面積	3,517 m ²	確認者	定森淳一	

1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																																
★ ★ ★ ★ ★		BEE = 0.9 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																														
		■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値(排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率																																														
★ ★ ★ ★ ★		88%																																														

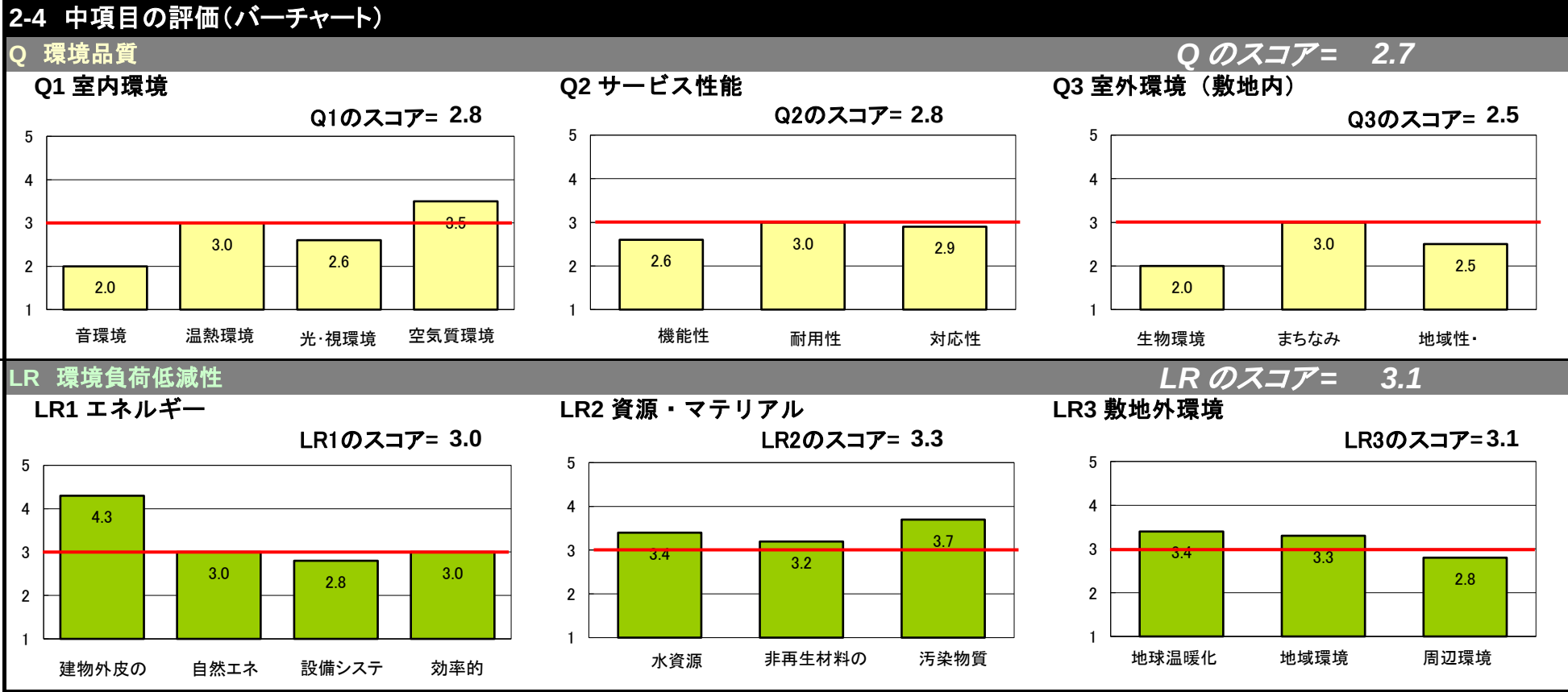
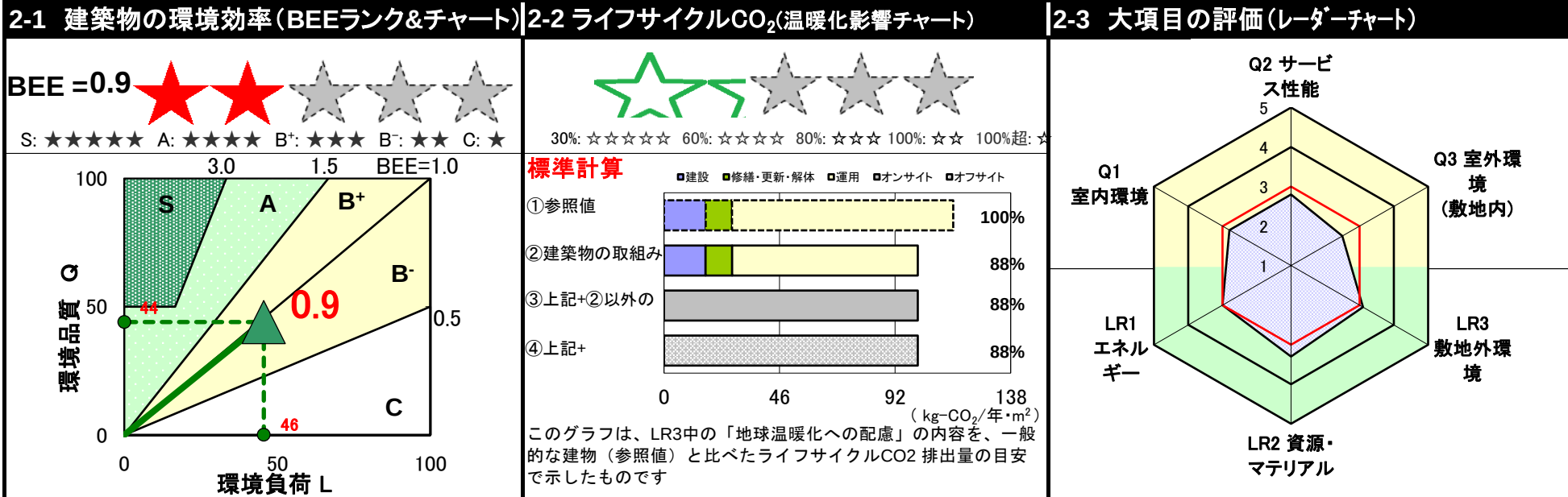
2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				71
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		評価点	■ 熊本県重点評価基準	
		68.3	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		68.7	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		75.0	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		75.7	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	熊本ダイハツ販売(株)本社・本店 改築	階数	地上3F	
建設地	熊本県熊本市南区平田2丁目50,51,6	構造	S造	
用途地域	工業地域	平均居住人員	100 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年9月3日	
敷地面積	10,624 m ²	作成者	松本拓也	
建築面積	2,381 m ²	確認日	2019年9月4日	
延床面積	3,517 m ²	確認者	定森淳一	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
熊本ダイハツ販売(株)本社・本店 改築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境					0.36	-	-	2.8	
1 音環境				2.0	0.15	-	-	2.0	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				1.5	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.72	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.28	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.41	-	-		
2 外皮性能				3.0	0.23	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.36	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.6	0.25	-	-	2.6	
3.1 昼光利用				3.0	0.36	-	-		
1 昼光率				3.0	0.42	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.58	-	-		
3.2 グレア対策				1.0	0.21	-	-		
1 昼光制御				1.0	1.00	-	-		
3.3 照度		事務室500lx以上		4.0	0.11	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.32	-	-		
4 空気質環境				3.5	0.25	-	-	3.5	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆認定品とする		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.38	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.24	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.38	-	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8	
1 機能性				2.6	0.40	-	-	2.6	
1.1 機能性・使いやすさ				2.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.24	-	-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.24	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.53	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				3.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種がB以上、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性				2.9	0.30	-	-	2.9			
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	壁長さ比率0.18	2.8	0.30	-	-				
		2		空間の形状・自由さ	2.0	0.60	-		-		
				4.0	0.40	-	-				
				3.0	0.30	-	-				
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.40	-	-				
	3.3 設備の更新性			3.0	0.20	-	-				
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-				
	2	給排水管の更新性		3.0	0.10	-	-				
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-				
	4	通信配線の更新性		3.0	0.20	-	-				
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-				
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-						
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.34	-	-	2.5			
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0			
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0			
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5			
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-				
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.1			
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.0			
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.87	4.3	0.11	-	-	4.3			
2 自然エネルギー利用				3.0	0.11	-	-	3.0			
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.84	2.8	0.55	-	-	2.8			
4 効率的運用				3.0	0.22	-	-	3.0			
	集合住宅以外への評価			3.0	1.00	-	-				
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-				
		4.2		運用管理体制	3.0	0.50	-		-		
	集合住宅への評価			-	-	-	-				
	4.1	モニタリング		-	-	-	-				
		4.2		運用管理体制	-	-	-		-		
	LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-		-	3.3	
	1 水資源保護				3.4	0.20	-		-	3.4	
1.1	節水		自動水栓に加え、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-				
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-				
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-				
		2		雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-		-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	-	3.2			
2.1	材料使用量の削減		-	2.0	0.10	-	-				
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-				
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-				
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-				
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-				
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			OAフロアの採用、LGS下地の採用	5.0	0.20	-		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7			
3.1	有害物質を含まない材料の使用		グラスウール、ロックールの採用	3.0	0.30	-	-				
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-				
	1	消火剤		-	-	-	-				
		2		発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-		-		
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-				
	LR3 敷地外環境				-	0.30	-		-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			LCCO ₂ 排出率=88%	3.4	0.33	-	-	3.4			
2 地域環境への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3			
2.1	大気汚染防止		ガス設備設置無し	5.0	0.25	-	-				
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-				
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25	-	-				
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-				
		2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-		-		
		3		交通負荷抑制	1.0	0.33	-		-		
		4		廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33	-		-		
	3 周辺環境への配慮				2.8	0.33	-		-	2.8	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-				
	1	騒音		3.0	1.00	-	-				
		2		振動	-	-	-		-		
		3		悪臭	-	-	-		-		
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-				
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-				
		2		砂塵の抑制	-	-	-		-		
		3		日照障害の抑制	3.0	0.30	-		-		
	3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-				
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-				
		2		屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-		-		

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・室内環境、サービス性能配慮している。
- ・敷地内外環境への配慮を行う。
- ・エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。

Q1 室内環境

- ・事務室500lx以上等、照度に配慮している。
- ・内装材はF☆☆☆☆認定品とし、空気質環境に配慮している。

Q2 サービス性能

- ・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用等、耐用年数の長い部材を採用している。
- ・壁長さ比率を確保し、空間のゆとりに配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・緑地を設けている。

LR1 エネルギー

- ・BPI値を0.87に削減する等、建物の熱負荷抑制に配慮している。

LR2 資源・マテリアル

- ・自動水栓に加え、節水型便器の採用に努めている。
- ・リサイクル材の活用に努めている。
- ・グラスウール、ロックウールの採用等、フロンハロンの回避に配慮している。

LR3 敷地外環境

- ・省エネルギー性能に配慮し、LCCO2排出率を88%に削減する等、地球温暖化防止に努めている。
- ・ガス設備設置無し等、大気汚染防止に配慮している。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 熊本ダイハツ販売㈱本社・本店 改築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	71
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				68.3	0.40	27.32
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.3	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.8	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	1.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				68.7	0.20	13.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				75.7	0.20	15.14
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.9	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数